

令和6年度事業計画

I はじめに

誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現、それは我が国において常に求められているところです。

シルバー人材センターでは「高齢者の社会参加促進」、「生きがいの充実」、「健康の保持増進」を目的として、地域の日常生活に密着した就業機会を提供し、そのことが地域社会の活性化、ひいては医療費や介護費用の削減などにつながっています。そのためにも会員及び就業機会の拡大は全シ協においても最重要課題となっています。しかし、昨年から新型コロナの位置づけが変わり、多くの分野で日常が戻ってきてはいますが、会員数は依然として下げ止まっています。全シ協では「第二次会員百万人達成計画」における目標値と現状の差異が大きくなっていることから、まずはコロナ禍前の水準（令和元年度数値）に回復させることを最優先課題とするとともに、会員数の増だけに固執せず、粗入会率の上昇にも着目していくこととしています。

現在、年金支給年齢の引き上げや雇用延長が引き続き行われ、七十歳までの就業機会の確保が努力義務とされ、全国的にもシルバー人材センターへの入会者の平均年齢は60歳代後半となっています。そのような中、高齢者が引き続き意欲を持ち、就業を通じて地域社会を支え、同時に高齢者自身の生きがいや健康づくりにも寄与するシルバー人材センターには、大きな期待が寄せられている一方で、人手不足分野等での就業機会の開拓・マッチング機能や地域の実情を踏まえた積極的な取組の強化が求められています。

令和6年度の当シルバー人材センターの事業においても会員数の増及び維持への取組は、高齢者の労働力への期待に応え、受け皿としての機能を果たすため、欠くことのできないものではありません。しかし、引き続き、インボイス制度への対応は勿論のこと、昨年からの最低賃金の大幅な上昇や各種物価の上昇に加え、今年度も事業維持のための料金値上げを行うこともあり、就業先への対応については、引き続き真摯な取り組みと行動が求められます。人口減少が進んでいる中、「社会の支え手」として欠くことのできない存在としての役割を果たすためにも、粗入会率の上昇に着目し、退会の抑制にも取り組んでまいります。今後、地域社会への浸透を更に図っていくため、安全を第一とし「自分の安全は自分で守る」という意識の啓発を進め、会員、役員、事務局がさらに力を合わせて資質向上にも粘り強く取り組んでまいります。また、就業機会の開拓を更に進めて行くためにも、全体の35%を占める女性会員数の増にも注力していきます。

就業機会の拡大については、適正・安全就業を大前提とし、公共機関や市内企業等に対し受託の継続と拡大を併せてお願いするとともに、会員による就業先拡大プラスワン運動に積極的に取り組んでいただく等、受注に結び付く活動を推進していきます。

その中において、請負事業については、成長分野である福祉・家事援助サービスなど地域に貢献する分野での、底上げを引き続き図っていきます。伝統的な受託事業である庭木の囲いや除草、襖・障子の張替えなどは就業会員の確保と技能の継承のため、会員がこれまで培った経験・スキルに加えて新たなスキルの習得が不可欠であり、現場での実践を通じて技術習得や研修が重要になります。

また、派遣事業については、事業全体に占める割合が伸びていますが、会員の就業先を訪問し更なる就業の拡大をお願いするとともに、派遣先と協力して適正・安全就業と事故防止に努めることが一層重要になってきます。

本年度は、センター設立から40年の節目の年となります。多くの分野で日常が戻ってきている中で、2年度目を迎える第4次中期計画を基本方針として、更なる事業展開を進めてまいります。

以上のような事項を踏まえ、当センターの令和6年度収支予算については、経常収益計が1億6,534万6千円で前年度当初予算と比較し284万9千円の増、経常費用計が1億7,026万8千円で前年度当初予算と比較し266万2千円の増、当期経常増減額は18万7千円の増であります。

当センターは、基本理念である「自主・自立・共働・共助」を堅持し、関係各位のご支援、ご協力をいただきながら、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、「生きがいと地域のニーズを結ぶ」事業の推進に取り組んでまいります。

II 基本方針（第4次中期計画 令和5年度～令和9年度）

1. 会員（人材）の増強・育成と技術の向上
2. 就業機会の拡大
3. 安全・適正就業の推進
4. 運営体制の充実と強化

III 個別事業計画

【総務委員会】

健康で働く意欲のある高齢小千谷市民がひとりでも多く就業をはじめとする様々な社会参加活動を通じて自身の心身の健康保持や健康増進を実現することにより活力ある地域社会の創造に寄与することを目的とするシルバー人材センター事業の定着拡大を図るべく以下のことを実施します。

1 会員の増強と融和推進

①会員入会の促進

- ・入会説明会を、毎月1回（主に第3水曜日「サンラックおぢや」にて）行います。
- ・会員による新規入会者の勧誘活動を推奨し、会員が集う機会のほか必要に応じさまざまな機会に協力を呼びかけます。

- ・新規入会者増の取り組みについて検討を行います。

②会員親睦機会確保の協力

- ・シルバー人材センターにおける就業やボランティアなどの地域社会貢献に意欲的に参加しやすくするため、会員同士の親睦活動に協力します。

③会員の資質向上の促進

- ・必要に応じ検討およびシルバー人材センターに協力します。

2 地域社会への貢献

①ボランティアによる公共施設の美化活動の実施

- ・会員組織（委員会、地域班等）と協力し多くの会員有志の参加を呼び掛け実施します。

3 小千谷市シルバー人材センター設立40周年記念事業に関することへの参画・協力

- ①必要に応じ可能な範囲において記念事業に関することに参画、協力します。

【安全・就業委員会】

1 安全研修の実施

- ・会員の技術や資質向上のために安全就業講習を実施します。
- ・刈払機除草作業中に起こる事故防止のため、安全に効率よく就業ができるように就業前点検を呼びかけます。
- ・県連合等が主催の研修会へ出席します。

2 就業現場の巡回強化

- ・就業現場での巡回指導を随時実施し、安全就業を行い「事故ゼロ」を目指します。また、室内就業の現場も巡回対象にすることで、より多くの業種を巡回できるようにします。
- ・巡回時に会員一人ひとりの事故防止に対する意識を高揚させ、安全用具の着用や傾斜地での転落防止を呼びかけるとともに適切な新型コロナウイルス感染防止対策がとられているか確認します。
- ・新潟県シルバー人材センター連合会と合同で、他センターへの巡回指導を実施します。

3 事故防止の徹底

- ・入会者に対する安全就業指導を行います。
- ・就業時の安全確認、往復時の交通事故防止を呼びかけます。
- ・就業前後の挨拶をするように声掛けをします。特にグループ就業場での就業前ミーティング等を重要視し、安全就業に対する意識の向上に努めます。
- ・安全具着用を推進し、飛散防止ネットやブルーシートの活用を広めること

や用具からの転落防止や傾斜地等作業時の事故防止を伝え、未然防止に努めていきます。

- ・事故の再発防止を検討し、ヒヤリハットを会員自らのこととして類似事故を防止するとともに損害賠償についても理解を深めてもらえるよう広報誌等を活用し周知していきます。
- ・「一会員必携—安全就業ハンドブック」を常に携帯し、安全確認をするように周知します。
- ・いきいきクラブチャレンジ100に参加することで安全意識を高めます。

4 作業用具類の管理

- ・作業機械器具類、安全保護具などの定期点検、整理整頓を強化します。
- ・自動車を定期的に点検、車内整理を実施します。また、運転日誌の確認もします。

5 安全就業強化月間（7月）における安全就業の周知徹底

- ・安全就業を強化するために安全就業スローガンを会員へ通知します。
- ・熱中症予防のチラシを配付し注意喚起を徹底します。
- ・救急用品（特に蜂対策）の携帯を推進します。
- ・身体機能の低下に対応するため、定期的な健康診断の受診を呼びかけます。

【広報委員会】

1 会報の企画、編集に関すること

- ・年2回、会報誌「ばわすこ小千谷」を編集発行して、センター会員、関係機関、各種企業・団体等へ配布することにより、センターの組織や事業活動についての情報提供、センターの普及啓発等に努めます。
- ・見やすく、親しみのある会報誌の発行を目指します。
- ・センター設立40周年にあたり、記念の会報誌の作成、編集等を行います。

2 事業啓発用パンフレット等の編集に関すること

- ・既存の掲示物やパンフレット等を見直し、必要に応じ編集等を行います。
- ・センターの事業に応じた掲示物やパンフレット等の作成や編集を検討します。

3 ホームページの管理運営に関すること

- ・利用頻度を高めるために、内容の充実、最新情報の更新等を検討します。

4 事業の啓発活動等の計画立案及び宣伝に関すること

- ・センターの会報誌、パンフレットおよびホームページ等を有効活用し、普及啓発、センターのPRに努めます。
- ・小千谷市等が開催する各種イベントへ参加し、広報活動に努めます。

- ・必要に応じて市の広報誌や地域紙等に取材、情報掲載を依頼します。

【理事会及び事務局】

1 公益社団法人としての機能強化への取組み

- ・理事会、委員会において、情報や課題の共有を積極的に行い組織の活性化を図ります。
- ・職群班、地域班において、より多くの会員が参画する中で班の強化を図ります。
- ・交通安全や接遇・マナーに関する研修を行い、会員の資質向上を図ります。
- ・事務局職員の企画力・事務能力向上を図ります。

2 財政基盤の確立、経営効率化への取組み

- ・自主財源の確保に努め、補助金を適切に活用するとともに、インボイス制度への的確な対応を進めて堅実な財政基盤を確立します。
- ・事務の効率化と減量化を進め、業務内容等のチェック体制強化に努めます。
- ・フリーランス新法による契約方法の見直しを見据え、デジタル機能の強化に努めます。

3 情報の提供

- ・関係機関によるシルバーに関する情報メディアや当センターのホームページ・チラシ等の活用をするとともに、ハローワークとの情報共有をはじめ情報を広く提供し、会員拡大や安全・適正就業を推進するとともに、事故の防止を図ります。

【参考】 令和6年度目標値・・・(中期計画2年度と合わせる)

会 員 数	粗入会率	受注件数	就業延人員	契約金額	就 業 率
388 人	2.73%	2,402 件	37,752 人日	176,429 千円	99.7%

※ 表中の数値は、請負等に係る当センター事業の数値と県連合会小千谷市事務所派遣事業の数値を合計したものです。

※ 粗入会率は当市の60歳以上の人口に占める会員数の割合です。

※ 就業率は年度内就業者数÷年度末会員数で示したものです。